

2007 年 2 月 13 日

BMW Group、IT 部門を集約 新しい IT センターを建設

ミュンヘン発(2007 年 2 月 9 日): BMW Group は、ミュンヘン北部に新しい情報技術(IT)センターを建設し、全ての IT 業務をそこに集約します。敷地面積 56,000 m²のビルは 2 段階に分けて建設が進められ、完成は 2009 年中頃の予定です。これまで IT 部門はミュンヘンの内外 7 箇所に点在していましたが、これにより IT 部門の 3,000 人以上の従業員の労働環境が大幅に改善されます。

新しい IT センターは、BMW Group の研究開発センター(FIZ)の近隣に建設されます。FIZ では、約 8,500 人のエンジニアや各部門のスタッフ、数多くのサプライヤーが、未来の自動車やテクノロジーの研究・開発に携わっています。IT 部門のヘッド、カール＝エリッヒ・プロブストは、「新しいセンターの建設により、スタッフやサプライヤーに最高の労働環境を提供するとともに、非常に現代的かつ柔軟性のあるオフィスおよびインフラが実現します。距離が近くなり、直接顔を合わせることで IT 部門の業務スピードが向上し、個人およびチームの仕事に対してより良いサポートが提供されることとなります。FIZ センターに隣接していることで、社内の重要なプロセスをより効率的にサポートできるようになります。これにより、BMW Group 全体における IT サービスの品質を改善することが可能となります」と述べています。

53,000 m²の敷地はサッカー場 7 つ分に相当し、オフィス、最新の会議エリア、複数のレストラン、カフェテリアが収容されます。さらに従業員用施設やラボ、テストエリア、トレーニングエリアといった専用施設も完備しています。地上 2 階に加え、地下 2 階には駐車場、収納スペース、技術的施設、供給施設が収容されます。

4 階建てビルの建設の第 1 段階は、2008 年初旬に開始される予定です。第 2 段階の、より大きな部分は 2009 年中頃に完成する予定で、これによりクノール通りからシュライスハイマー通りに至る、鉄道ルート of の南に沿った長さ 400m にわたるビルが完成します。

今回の建設にはミュンヘン北部の内外、そしてバイエルン地方で合わせて 15 の候補地がありましたが、FIZ センターに隣接する場所が、経済的解決に最高かつ最良であると判断されました。